

新退教通信

No.191

2023.12.1

新潟県退職
教職員連絡協議会

☎Fax 025-281-8146

魚沼の冬、近し



新退教副会長

小幡 晴美

すっかり晩秋の雰囲気はただようころとなりましたが、皆さま心も体もお元気のことと思います。

先日、奥只見湖へ行ってきました。錦秋とはいきませんでした。紅葉も始まり荒沢岳頂上がすっかり雪に覆われていました。赤や黄に色づき始めた木々の葉、青い空と湖、そして白い雪、美しかったです。

しかし、雪との現実的な戦いが始まることも頭をよぎり、ため息も出ます。

まだ、現職のころ、学校から帰り、窓をぎつちり押している雪を除いていたら、近所の人に「一人では危ない」と怒られたことを思い出します。

最近、暖冬とかで、雪も少なかったりするのですが、それでも、ひと冬に2、3回は「窓開け」をプロに頼まなければなりません。玄関先は、ロードヒーティングしているので構わなくていいのですが、道路部分は除雪をしなければなりません。

だいたい、除雪に出る時間帯は同じなので、隣の奥さんと「除雪ダイエツト」と称し、気合を入れ合いながら雪に挑んでいます。除雪後は、コーヒーとケーキとコミュニケーショントークです。ダイエツトはこの次まわし。この雪と付き合っていくには、体力勝負。楽しいことも大事です。

でも、このたつぷりの雪のお陰で、美味しい「魚沼産コシヒカリ」ができています。と聞いて納得します。

魚沼だけではなく、それぞれ冬の厳しさは並大抵のことではありません。隣近所の皆さんと声を掛け合い、笑い合い、コミュニケーションをとり合い、厳しい冬を乗り切ってくださいましょう。

目次

(敬称略)

3p 五十周年 実行委員長 遠藤 昇

式典部長 森 弘志

記念誌部長 横山 弘

4p 支部から 三南支部 並木美紀子

新潟五泉支部 五十嵐正樹

西蒲・燕支部 原田 完二

5p 北新支部 吉田 博昭

長岡支部 飯田 満

南魚支部 南雲由美子

6p 新教組です 本部専従 今井 淳

支部専従 佐藤 俊介

〃 間 大也

〃 渡邊 伸明

8p みんなの広場 山上オクラ

今井 慎悟

佐久間節子



「読み：還るを得ると雖も数しばする能わず」

王羲之・尺牘(せきとく)の臨書

小林裕史さん(三南支部)

50周年記念式典 盛大に催される

9月25日、新潟市の東映ホテルで、新退教結成50周年記念式典・祝賀会が開催された。

来賓・招待者をお迎えし、新退教各支部代表・実行委員・本部役員が出席した。

式典は須貝育子実行委員（北新支部）の進行で進められ、大坂和夫会長のあいさつ後、来賓祝辞を日退教の竹田邦明様、新教組の今井淳様、退職者連合の山田太郎様からいただいた。



来賓の皆様

日本退職教職員協議会	会長	竹田邦明	様
新潟県教職員組合	委員長	今井 淳	様
新潟県退職者連合	会長	山田太郎	様
高等学校退職者の会	会長	木村昭雄	様
退職女性教職員の会	会長	遠山栄子	様
新潟県退職公務員連盟	会長	田邊 茂	様

招待者の皆様

教職員相互共済会	理事長	朽見誠二	様
教職員共済	所長	坂詰浩一	様
教職員厚生財団	理事長	猪股博英	様
学校生活協同組合	専務理事	吉澤 環	様
新潟教弘	支部長	本間則昭	様
労働金庫	営業推進部長	高橋茂徳	様
新教組本部	副委員長	石津真澄	様
〃 本部	書記長	佐藤俊介	様
〃 本部	書記次長	徳橋和人	様
〃 本部	執行役員	長谷川亜耶	様
〃 新潟市支部	委員長	野上丈成	様
〃 新潟市支部	書記長	間 大也	様
〃 新潟市支部	書記次長	須田信太郎	様
〃 長岡支部	書記長	清水賢志	様
〃 柏刈支部	書記長	中村昭宏	様
〃 県央支部	書記長	渡邊伸明	様
〃 下越支部	書記長	渡辺みつ枝	様
〃 魚沼支部	書記長	大塚貴央	様
〃 親と子の相談室	室長	金子啓子	様

記念誌について

11月中旬に刊行され、式典出席者をはじめ全会員に配付される記念誌等について、山岸修事務局長が報告を行った。

① 10年ごとの記念誌に掲載されていた「本部役員一覧」「支部役員一覧」を実行委員・各支部役員が力を合わせて整理・補充・点検を行い、50年一覧にした。

② 10年ごとに掲載されてきた「歩み（活動記録）」を、多くの方々のアドバイスのもと、「50年のあゆみ（年表）」として再編成した。

③ 横山弘部長のリーダーシップのもと、周年誌としては初めてカラーにした。当初2色刷りの予定であったが、小林公一副部長の表紙写真が素晴らしかったため、表紙等は多色刷りとした。（予算上、資料は白黒）

多色刷り頁ができたので、財源確保のために「広告」を案内したところ5団体様から申込をいただいた。深謝。（頁調整のため、教職員共済様からは辞退をお願いした。）

④ 記念誌全72頁の6割が「新退教通信50年分からの選りすぐり」となっている。いわば「新退教通信で綴る半世紀の歩み」である。

出席者の感想



☆式典ではどの方の挨拶も内容があり、主張されることに同感させてもらいました。

☆現職の頃から、新退教に参加することは当然と考えるはいましたが、自分が生かされていたことの重さを再認識できました。

記念共催イベント

全国退職教職員生
が支援協会様との共
催で、新潟お笑い集団
ナマラによる嵯八家五
円様の人情落語が披露
され、会場いっぱい
笑いが広がった。



記念祝賀会

ナマラのジャック・ポット(大野まさや・
春巻マサシ)様の進行で進められ、遠藤昇実
行委員長のあいさつ後、来賓祝辞を木村昭雄
様・遠山栄子様からいただいた。

竹田邦明日退教会長の乾杯後、幸田赳夫元
会長・古田セツ子元副
会長から思い出を語っ
ていただいた。祝賀会
は大変盛り上がった。
最後は、今井淳委員
長の力強い団結ガンバ
ロー、そして、小野塚
正春式典副部長の閉会
あいさつで締めくくっ
た。



出席者の感想

☆落語はとても面白く、よくこれだけの話を
覚えて語られるものだと感心しました。
☆先輩たちの熱い思い、そして仲間たち・志
を同じにする者の思いを再認識することが
できました。

☆こういう全員の集まりでなければ会えない
人がいるが、その機会を与えていただいて
良かった。元気をいただいた。

☆新退教の誕生・連続・協力団体等、繋がり
や絆を実感できました。

50周年記念式典・

祝賀会を終えて



実行委員長
遠藤 昇

9月25日、新潟東映ホテルで、新退教50周
年記念式典・祝賀会が開催されました。

記念式典は、12名のご来賓、新教組本部・
支部役員、新退教本部役員・支部参加者等、
約100名が参列し、厳粛な雰囲気の中で挙
行されました。その後の祝賀会では、会員同
士で4年ぶりに飲んで食べて語り合っ、楽
しく有意義な一時を過ごしました。

開催までの皆様のご支援・ご協力に、記念
事業実行委員長として深く感謝申し上げます。

懺悔



式典部長
森 弘志

まずもって私事により記念式典当日に、式
典部長という立場でありながら欠席するはめ
になってしまい申し訳ありませんでした。

北新支部有田さんから実行委員を引き継ぎ、
充職で部長になってしまいました。50周年と
いう記念の式典ですが、簡素化を基調としな
がらも充実し、思い出に残る式典にしたいと
いう思いで部会に提案し、協議していただき
ました。式典後、小野塚副部長さんから無事
に終わったというメールをいただき、ほっと
しました。ありがとうございました。

新退教よいつまでも



記念誌部長
横山 弘

記念誌部会は本部役員を含めて16人のメン
バーで令和3年にスタートしました。これま
での新退教50年の歩みがビジュアルに理解で
きるようにと工夫してみました。

コロナ禍であり、一堂に会することに困難
がありました。何とか発行することができ
たことに感謝します。せつかく発行しました
ので、どこかにしまい込むことなく時々ペー
ジをめくっていただければ幸いです。

支部からのたより

フードバンクの活動



三南支部
並木 美紀子

生活環境の子どもは増えていること、等です。そこで、フードバンクでは「子ども未来応援プロジェクト」や「あしながサンタプロジェクト」等を展開し、多くの参画を呼びかけています。

「フードバンク三条」の事務局長は、私がかつて勤めた中学校の卒業生です。たまに事務所を訪問して激励しています。事務局長からはいろいろな話を聞きました。①全県でひとり親家庭等による生活困窮世帯が7千世帯を超えたこと、②子ども人口が年々減っているのに厳しい

三南支部では、食料品の提供を呼びかけたり、支部幹事会の際に持参してもらったりしてきました。フードバンクの活動では多くの人から内容を知ってもらい、協力の輪を広げることが重要です。そのため、私にはどんなことができるのか、と考えています。

アルビ観戦は

生活の一部



新潟五泉支部 監査
五十嵐 正 樹

アルビレックス新潟が2004年から

J1で試合をすることになり、スタジアムでのサッカー観戦を始めた。その後、妻と観戦するようになり、20年になる。勤務校には、アルビサポーターが必ずいて共通の話題があった。今は、近所の

サポーターと情報交換して楽しんでいる。今のアルビのサッカーは、パスを繋いで攻めるポゼッションサッカーで、パスがうまく繋がるとワクワクしてくる。ゴールが決まると、知らない人ともハイタッチをして喜びあえる。共有できる一体感がいい。

予定を入れる時は、アルビのホーム戦を優先に計画を立てている。まだ一回もアウェー戦を観戦していないので、次のシーズンは行ってみたい。選手の背中を押せるようなサポーターでいたいと思う。

お盆に思う



西蒲・燕支部 事務局長
原 田 完 二

毎年お盆を迎えるためにお墓を掃除する。田舎の墓地は広い。真夏の一番暑い時期、今年は特に苦勞した。

毎年自分の兄弟たちが集まってお盆を迎える。話題は家族や先祖、戦争の話も。私たちの父は出征しビルマに、妻の父はシベリヤに抑留され、母の兄はインパールで戦死している。アルバムから出征する父の遺書が出てきた。その時の父はもろろん今の自分より若い。前途ある若者が遺書を書かなくてはならない心境はいかばかりか。もし、父が戻らなければ、私たち兄弟はいない。

来年は自分たちの子や孫も集まるといい。そして、アルバムをめくり、お参りしながら、先祖や戦争について話したい。お盆はいい機会だ。そのため、これからも田舎の墓守として、猛暑の草取りに精を出そう。

世界ピンクシャツデー

いじめ反対運動



北新支部 幹事

吉田 博 昭

退職数年前にある研修会で耳にしましたカナダ発祥の運動です。

退職の時は、なかなか手が伸びませんでした。退職し、近くの小中学校にボランティアで入ることになったことを機に、やってみようという気持ちになりました。

朝、見守り活動の際、ピンク色の帽子を被ることにしました。周囲の反応はまったく無し。予想通りです。

そこで、地域教育コーディネーターをお願いし、私が作った資料をボランティアの皆さんに渡してもらうことにしました。まずは、広く周知を。

いつか、地域がピンク色に染まればいいなど思っています。

※世界ピンクシャツデーで検索すると公式HPがすぐ見つかります。

ささやかな

+αの取り組み



長岡支部 組織部長

飯田 満

会員数は減少傾向の現状。「組織存亡の危機にあり」とは言い過ぎでしょうか。

退職とはいえ、再任用・再就職の時代。定年退職年齢延長の時代にも入ります。

支部では例年、退職者に、①支部加入案内 ②新退教通信（県本部加入案内号）

③支部日より ④加入申込関係書類を届け、加入を呼び掛けてきました。今春は、新たなささやかな+αの取り組みとして、「支部の活動を知っていただく」を第一義に、「新退教長岡支部の紹介・新退教加入のご案内」を作成・配付しました。

会長挨拶と各行事担当者・参加者の声により心情に訴える。写真配置とカラー印刷により視覚に訴える。「新退教の主旨や、支部の取り組みがとてよく分かった」との声があり、今後も継続配布の予定です。

思ったこと



南魚支部 会計監査

南 雲 由美子

7月下旬に支部の親睦旅行があった。ここ数年は実施されなかったもので、とても楽しみにして出かけた。工場見学をしたり、おいしいものを食べたり、なつかしい方々との久しぶりの時間は、気分一新のよい機会となった。退職してから公民館の趣味の教室に通っている。参加者はみな高齢者だが、縫い物しながらも話が弾む。作品の作り方はもちろん、野菜作りや料理のこと、時事など、生き生きと話している。聞いていても楽しい。

そういえば、高齢者ほど「きょうよう」「きょういく」に心がけた方がよいとあるコメンテーターが話していた。「今日用がある」「今日行くところがある」ということだそう

だ。やりたい事が人との関わりや楽しみの機会を作ってくれる。そう思うと、前向きな気持ちでいることの大切さがよく分かる。

日退教定期総会

6月9日、日退教（日本退職教職員協議会）は、日本教育会館で、4年ぶりに通常形式に戻して第50回定期総会を開催した。

今年は日退教結成50年であり、厳しい情勢の中ではあるが、会員の連帯を大事に、交流と運動に取り組んでいくことを確認した。

竹田邦明会長あいさつ（抜粋）

「昨年夏の参議院選挙での古賀ちかげさんの勝利に続き、この4月の統一地方選挙では、日政連候補は良い成績を上げることができました。しかし、全体を見れば岸田政権に一撃を与える政治状況を作り出すには至りませんでした。……略…

今年度から定年延長が始まります。組織の維持拡大には厳しい状況が予想されますが、あきらめずに声を上げ続け、仲間にも声をかけ続けていきたいと思います。」

みずおか俊一さんを推薦



本総会において、2025年夏の参議院選挙で日政連候補として「みずおか俊一」さんの推薦を決定した。

北陸ブロック大会

6月14～15日、富山市の呉羽ハイツにおいて、日退教北陸ブロックの定期大会が4年ぶりに対面で開催された。

来賓

日本退職教職員協議会会長 竹田邦明 様
日本教職員相互共済会理事長 朽見誠二 様
富山県教職員組合 委員長 相澤 誠 様

質疑より

Q 会員減について日退教のとらえ方は？

A 会員減の要因として、現職減、再任用増、組織に入りたがらない等が考えられる。対策の一つとして、かつて日教組の方針に「退職教職員の組織化」があったので、現職の方針に入れてもらう。その際、退職者に入会手続きを取るのではなく、退職したら自動的に退職者組織に移行するようにできないものか。現にそのようにしている退教もある。

新退連定期大会

7月26日、東映ホテルにて、新退連（新潟県退職者連合）の定期大会が開かれ、前年度の活動報告や今年度の運動方針等が承認された。その後、30周年記念祝賀会が行われた。

こんにちは 新教組です

がんばれ後輩！



新教組本部執行委員長
今井 淳
(南魚沼市浦佐小)

「戮力協心」。この言葉を新教組運動推進にあたって大切にしています。意味は「全員の力を集結し、一致協力して任務に当たること」です。「一致団結」に通ずる言葉です。

感染症5類引き下げに伴い、改めて対面で活動する意義を感じています。多忙な状況でも新教組に力を結集し、「つながり」の大切さを確認しながら運動推進に取り組んで行きます。



新教組本部書記長
佐藤 俊介
(新発田市東豊小)

本部で仕事をしていると、かつてお世話になった皆さんと顔を合わせる機会があります。支部の書記長時代にお世話になった方、新採用の頃の学年主任の先生、そして小学生の頃の担任の先生。意識してない頃から組合とつながり、支えられていたのだと気付かされます。今度は自分が次の世代につながるを残して行きたいと思っています。

がんばれ新教組！



★「30人以下学級…請願署名」ありがとうございました
 11/6 現在、新退教では1957筆集まりました。この署名を含め数万筆の署名を添えて、「教育をよくする県民会議」は12月県議会に「30人以下学級実現・教職員定数増・教育予算増額を求める請願書」を提出します。ご協力ありがとうございました。

★9月19日(火)、響きの森文京公会堂で日本退職者連合主催の「全国高齢者集会」がありました。
 講演 寺島実郎さん「世界の構造変化と日本の未来～ジェロントロジー(高齢者社会学)とは何か～」

★9月20日(水)、日本教育会館で地公三単産・地公退高齢者集会がありました。
 記念講演 山岸素子さん「ともに生きる社会をめざして」(移住者と連帯する全国ネットワーク事務局長)

★10月12日(木)、都内のラポール日教済で五者合同学習会がありました。
 講演 田中正敏さん(専修大学教授)
 「関東大震災時の朝鮮人虐殺はいつどこで起こったのか」

★10月13日(金)、ラポール日教済で、日退教組織活動交流集会がありました。以下は第2分科会リポート。
 ○『はだしのゲン』削除問題から考える(広島県退教)
 ○反戦・平和を訴える平和劇(朗読劇)を子どもたちに(大分県退教)
 ○「安倍晋三元首相国葬閣議決定取消並びに予算執行差止違憲確認及び損害賠償請求事件」横浜訴訟(神奈川県退教)

★10月14日(土)、長岡市立西中学校を会場に、新教組主催の県教研が新型ウイルス禍以前の形式に完全復活して開催されました。(23分科会&特別分科会)新退教からも一般参加者として6人出席しました。

こんにちは 新教組です

がんばれ後輩!



新潟市支部書記長
間 大也
(新潟市東曾野木小)

新退教の皆様には、30人以下学級実現に向けた署名について、今年度は県議会宛だけでなく、新潟市議会宛での署名にもご協力いただきました。新教組はもちろんのこと、任命権者が新潟市である新潟市支部にとっても本当に力になります。先輩方からの想いを受け、請願採択に向けて、とりにくいいきます。



県央支部書記長
渡 邊 伸 明
(加茂市加茂南小)

県支部が統合し、11年目を迎えました。感染症5類引き下げに伴い、対面での活動が戻ってきました。久しぶりに顔を合わせ、笑顔を見せる組合員。一方、広域のためオンライン継続を望む声もあります。会合の意義、組合員の参加しやすさに配慮し、参加してよかったと思えるよう取り組んでまいります。

がんばれ新教組!

教職員共済「自然災害共済」

自然災害が多発している関係で、火災共済に自然災害共済を付帯する方が増えています。自然災害共済には風水害等共済金制度があり、地震の他、暴風雨・洪水・豪雪・土砂崩れ等にも対応です。資料請求は↓ ↓ ↓



みんなの広場

コスパとタイパ? ⑧

山上オクラ

コスパとはコストパフォーマンスで「費用対効果」。タイパとはタイムパフォーマンスで「時間対効果」のこと。

学校の職員室からソファア等が撤去され、休憩時間のお喋りもなくなってきたとの話も聞かえてくる。

コスパ・タイパとは要するに「損得勘定」そのもの。昨今の「果樹盗難や宝石店強盗」そして「闇バイト」も、このような判断基準がもたらした当然の帰結なのかもしれない。

我が人生はバイクとともに ③

今井 真悟

私は昔から「いつもと違う小路を一つ曲がればそれは旅」という感覚で気ままに出かけ

ることが好きだ。天気がいい日にはふらっとバイクで走りだし、目的地も決めずなんとなく走っていく。「すべての道はどこかに通ず」と気楽な旅気分一人で走り出すと、新しい発見をすることがたくさんある。楽しいコースや思いがけないグルメなど、人生いくつになってもワクワクする時間を大切にしていきたい。



使ってみて驚き ②

佐久間節子

折角ですからだまされてみるのも仁義と思いい、使ってみることにしました。

「あれ? まあ! とてもいい!! 既成に比べて腕を伸ばせば織っている布が見通せる。」見てくれこそ良いとはいえませんが機能は立派な織機なのです。

「我が夫やるじゃない」の心境でした。

市販の織機は、10〜15センチぐらい織るとまた止めを外して織って…を繰り返すのです。私の織機は、1回で30センチは織ることができるのです。写真は、公民館活動で教えていただいた練習布です。



【三三情報】

◇会員夫妻の「ぎやらりー浜つばき」(2023年12月) 12/2〜18 ねんど母さん縁起人形展、1/6〜22 山田貴広(焼き画)・藪沙織(アクリル画)二人展、2/3〜19 加藤アヤ子 和のキルト展、3/9〜25 川上鈴子(写真)・佐山美幸(彫紙)二人展

*9/12に発表されたOECD(経済協力開発機構)の報告書によると、日本の教員給与が加盟国の平均を下回った。

*世界経済フォーラムが発表した今年の男女平等度ランキングで、日本は146か国中125位。過去最低の順位だった。

□穏やかさの祈り(ラインホルド・ニーバー)「神様、変えることのできるものについては、変えるだけの勇気を与えてください。変えることのできないものについては、受け入れる穏やかな心を与えてください。そして、変えることのできるものと、変えることのできないもの、その区別がつかない恵を与えてください。」

あとがき



新退教半世紀の歩みから、先輩たちの熱い思い、新教組と新退教の関係の深さ等を実感した。「新たな門出をする者には新しい道が開ける」困難な中にも希望が見える。(山岸)